

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	北陸住まいづくりを考える会			
H30採択グループ番号	07	—	0558	— 0321

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	<p>未経験工務店が意欲的に長期優良住宅・低炭素建築物・ゼロエネ住宅を地域の消費者に提案できるよう、グループ事務局は専属部署を設け、性能に関する相談やプレゼン資料を提供し普及に努めました。また見積時点で必要な仕様やプランの相談、申請手続き、省エネ施工の指標の解説、着工までの費用とスケジュール等、一貫したサポートを行いました。</p>
----	---

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/05/24	名称	地域型住宅グリーン化事業説明会	●
	内容	事業の概要、変更点、補助対象住宅の性能要件、モデル仕様紹介、スケジュール等を説明。					
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/02/23	名称	住まいLIVEFAIRイベント	●
	内容	国の方針である働き方改革を住まいで解決できるアイデアとしてlot住宅等を消費者に提案しました。施工構成員紹介ブースも設け作り手と住まい手のコミュニケーションの場を提供。国策情報としてZEH紹介ブースや消費増税相談ブースも設置。興味関心を深めて頂いた。					
	消費者説明会 2	有	開催日	2018/08/08	名称	ジョブキッズとやま	●
	内容	地域の消費者とのコミュニケーションと住産業への理解を目的に、県と地域型住宅供給プレカット工場の協力のもと、国産材を使った木工教室を開催しました。自然素材や合法木材による住まいのよさを体感してもらいました。					
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2018/05/24	名称	国策活用勉強会	タイプ 座学 ●
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/01/25	名称	新建ハウジングセミナー	タイプ 座学 ●
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/02/07	名称	TACT住宅市場時流セミナー富山会場	タイプ 座学 ●
	工務店研修会 4	有	開催日	2019/03/14	名称	TACT住宅市場時流セミナー福井会場	タイプ 座学 ●
	工務店研修会 5	有	開催日	2019/02/24	名称	消費増税相談会	タイプ 座学 ●

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有		●
	内容	グループ事務局にはサポート専属部署担があり、住宅性能評価業務のサポート全般を行っている。サポートメニュー表あり。性能評価から補助金申請手続きまでワンストップでサポートしている。		
取組み ②	サポートの有無 2	有		●
	内容	未経験工務店には入会時に、サポート専属部署があることを説明し、グリーン化事業に限らず日頃からの国策相談相手になっている。地域で事業を継続していくためには、維持管理の代行も含めた既存住宅向けサービスも用意。住まいが再度市場で流通していく支援策を全体図で説明しています。		
取組み ③	サポートの有無 3	有		●
	内容	今年度の補助金申請案件で申請サポートしたのは経験工務店含めて全体の58%でした。		

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	3	発行予定	3
② 住宅履歴情報の保管先	自社	機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	構成員の倒産廃業時のため、設計図書等をグループ事務局へ提出する。	
② H30年度における施工構成員の廃業	有	
対応内容	発注者の希望があればグループ事務局による事業継承を検討するとしました。	

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有	
内容	2020年省エネ説明義務化に向けて、BELS評価全棟採用を工務店にサポート前提で推奨している。	
省エネ化に対する取組 ②	有	
内容	省エネ技術講習会の複数回受講を推奨しており、講習会を主催する県の協議会に講習会の会場を例年提供している。	
BELS工務店の登録数	8 社	

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	北陸住まいづくりを考える会			
H30採択グループ番号	07	—	0558	— 0321

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/05/16	名称	グループ応募説明会		
	内容	平成31年度グリーン化事業の概要説明、昨年度との相違点、スケジュール等						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/08/03	名称	住まいの相談会		
	内容	地域産材を展示販売するイベント。消費増税の住宅施策コーナーを設け、次世代住宅ポイントやすまい給付金の制度説明を申請窓口として紹介予定。						
	消費者説明会 2	有	開催日	2020/02/22	名称	住まいLIVEFAIRイベント		
	内容	地域の消費者とのコミュニケーションを図りつつ先導的住まいかたの実例、モデル、高性能建材を展示予定。						
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/06/10	名称	次世代住宅ポイント・国策説明会(富山会場)	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/06/13	名称	次世代住宅ポイント・国策説明会(魚津会場)	タイプ	座学
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/10/10	名称	次世代住宅ポイント・国策説明会(金沢会場)	タイプ	座学
	工務店研修会 4	有	開催日	2019/10/03	名称	次世代住宅ポイント・国策説明会(福井会場)	タイプ	座学
	工務店研修会 5	有	開催日	2020/02/06	名称	新建ハウジングセミナー		

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み①	サポートの有無 1	有						
	内容	グループ事務局にはサポート専属部署担当があり、住宅性能評価業務のサポート全般を行っている。サポートメニュー表あり。性能評価から補助金申請手続きまでワンストップでサポートします。						
取組み②	サポートの有無 2	有						
	内容	地域型住宅グリーン化事業説明会の後半で今年度の国策勉強会を実施、活用可能な制度を一覧表でまとめた。そのすべてについてサポートは可能であり、具体物件ごとに適した支援事業を紹介し技術要件と申請書の作成サポートを実施予定です。						
取組み③	サポートの有無 3	有						
	内容	次世代住宅ポイント申請+次世代ポイント対象住宅証明書申請サポート+すまい給付金の申請受付、全て可能な窓口として、工務店向け勉強会を開催予定。						

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	
------------	----	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	構成員の倒産廃業時のため、設計図書等を揃えてグループ事務局へ提出する。						

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み(新築)	有						
内容	2020年省エネ説明義務化に向けて、BELS評価全棟採用を工務店に推奨していく。						
省エネ化に対する取組み(改修)	有						
内容	省エネ技術講習会の複数回受講を会員に推奨している。また技術講習会の講習会会場をグループ事務局会議室を例年貸し出ししており、下請け業者も含め関係者に受講を促しています。						

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	有	実施日	2019/07/18				
内容	グリーン化事業省エネ改修型の概要説明						
研修計画 ②	有	実施日	2019/09/19				
内容	次世代住宅ポイント制度活用勉強会および長期優良住宅リフォーム推進事業の勉強会。						

II. 平成31年度の取組みの計画

(2) 地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	北陸住まいづくりを考える会			
H30採択グループ番号	07	—	0558	0321

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	北陸地域ならではの、夏の高温多湿、冬の寒冷多雪な気候を考慮し、外壁は原則として通気工法とし、断熱性能等級4以上を必須とする。環境に配慮し、外壁が窯業系サイディング材の場合はプレカット加工とする。街並みの自然環境への配慮としてシンボルツリー1本以上の植栽を行う。
----	--

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満	50%以上	■	80%以上
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明			
主要構造材	土台	有	主要構造材(柱・梁・桁・土台)については合法木材またはPEFC認証材またはFSC認証材を50%以上使用する。(優良建築物型・改修は除外する) 例外を次に示す。①施工事業者の一部で全て手刻み加工を行う為、ⅢやⅣを経由しない場合がある。②その他地域材の供給ルートには様々なバリエーションがあり一部の業種を経由しない場合がある。③原木供給業者・製材供給事業者が海外であるため、本申請において必要とされる本社の念書の入手が不可能であったため原木供給業者・製材供給事業者の登録を行っていない。④該当事業者の原木・製材出荷が適合していることは任意様式にて示す。	
	柱	有		
	梁・桁等の横架材等	有		
羽柄材	間柱、根太、垂木等	有		
造作材	枠材、廻縁等	無		
板材	壁板、床板等	無		

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

① 地域材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	プレカット・建材流通の構成員は会員のために日本全国の産地に常に視察に赴き、まとめ発注やまとめ配送などの流通の合理化の努力を常に行っている。	
② 建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	有	
内容	グループ内で推奨メーカーをあらかじめ推奨し、木材以外の建材・住設流通業者は同一製品を大口契約交渉するなど資材・流通のコストの削減を図っている。	
③ 地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有	
内容	事務局が中心になり地域材の在庫量を把握し、メールにて発信する。	
④ 施工に関する統一ルール	有	
内容	湿気を有効に排出するために原則として外壁を通気工法とする。また、外壁が窯業系サイディング材の場合はプレカット工法とする。(優良建築物と改修は除外)	
⑤ 住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有	
内容	住宅金融普及協会発行「住まいの管理手帳」を定期訪問の参考とする。	
⑥ 施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有	
内容	第三の民間検査機関による現場チェックを推奨。株式会社中央グループ(旧ネグブラン)と提携している。	
⑦ 見積りに関する統一ルール	有	
内容	専門知識のないすまい手にも分かりやすいよう、見積仕様や工事内容について詳細に説明し、見積り価格一式提示をやめる。	
⑧ その他の共通ルール	無	
内容		

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

① 週休2日制の導入の取組	有	内容	経営トップがメッセージを発信し管理職や社員の意識改革を行っている。休みやすい社内体制のため、現場管理情報を共有化する取り組みを行っている。
② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	社員の資格取得を推奨し、資格手当制度や祝い金制度を用意している。
③ 社会保険への加入	有	内容	社会保険制度へ加入している。一人親方や下請け職人の障害にも民間保険の備えを用意する等、保護につとめている。
④ 建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	衛生委員会や安全委員会等で問題点の確認と改善に努めている。長時間労働抑制について経営トップ自らメッセージを発信し、周知・啓発を行っている。

II. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	北陸住まいづくりを考える会			
H30採択グループ番号	07	—	0558	— 0321

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	プランニングでは和の提案を1箇所以上行う。会が供給する年間使用予定枚数を1畳換算で100枚を目標としている。
② 和瓦の活用	有	内容	和の意匠を推奨している。今年度の使用予定枚数10600枚
③ 襖・障子の活用	有	内容	和の空間提案のために襖や障子の利用を積極的に提案している。今年度の使用目標枚数(3×6換算)各30枚
④ 地域の伝統的素材の活用	有	内容	北陸地域は古くからスギ材を建築材料に活用する文化がある。内装・外装に地域材・県産材による伝統的な意匠の活用を推奨している。

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	景観条例や地区計画で住宅において規制がある地域ではガイドラインに沿った設計をする。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	二世帯・三世帯同居や共働き世帯が快適に住める可変性に優れた設計を推奨する。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	街並みに配慮した外構計画とするため、シンボルツリー1本以上の植栽を行う。 ※優良建築物型や改修型は除外する

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	被災地の県産材を積極的に使用する取組を行う。福島県の協和木材株式会社(日本農林規格 JAS認定工場)の供給する合法木材供給認定の八溝杉材を構造材や下地材・仕上げ材にできるかぎり使用する。		
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	被災状況により他地域からの水物資等支援を行う。被災住宅の修繕計画の策定にあたっては会員の中から応援インスペクターを紹介可能とする。		